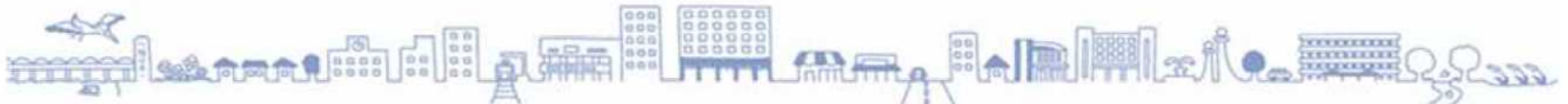


応急給水活動報告について

～能登半島地震に伴う鴻巣市の対応～

鴻巣市上下水道部

令和6年2月



目次

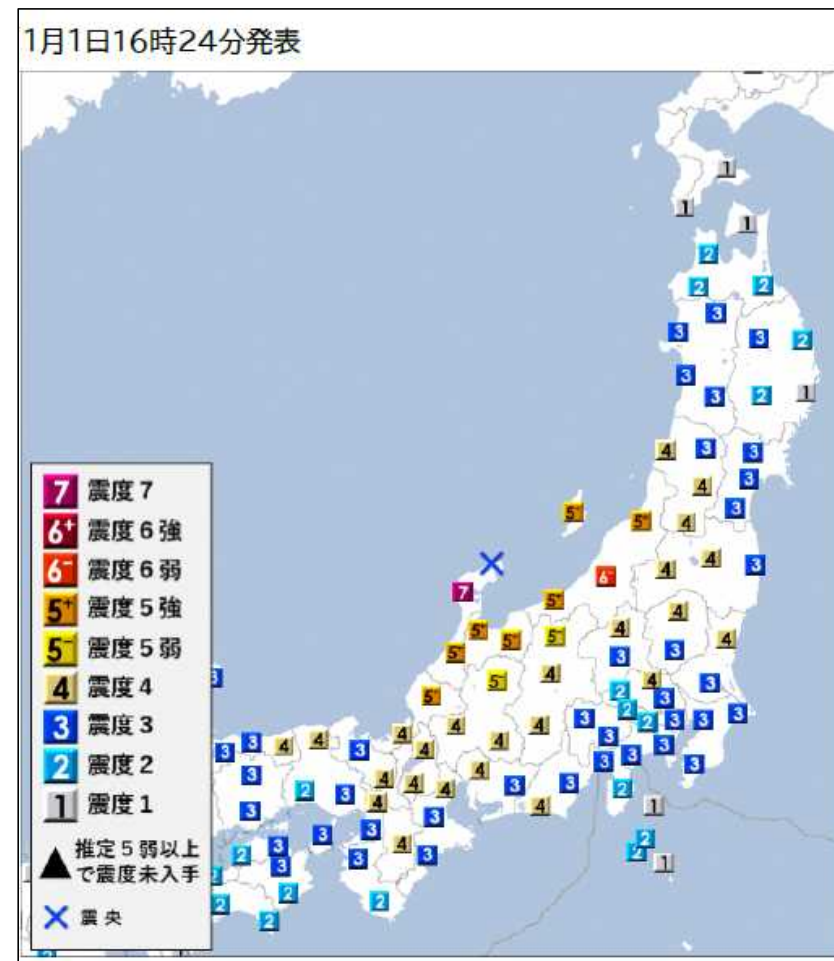
- 1 能登半島地震の概要
- 2 能登半島地震の被害
- 3 応援給水の対応
- 4 鴻巣市の取り組み



1 能登半島地震の概要

○地震の概要

- ・発生時刻：令和6年1月1日
16時10分頃
- ・マグニチュード：7.6
- ・発生場所：石川県能登地方
(石川県志賀町)
- ・震度：最大震度7
※鴻巣市でも震度3を観測



出展：気象庁 報道発表資料



2 能登半島地震の被害

○地震の被害

- ・人的被害：死者238名、負傷者1,288名
- ・住家被害：全壊2,306棟、半壊3,269棟、
一部損壊20,941棟

- ・石川県を中心に、新潟県、富山県等においても甚大な被害が発生

※石川県における住家被害においては確認中もあるため、実態はさらに増える見通し

出展：総務省消防庁による速報（令和6年1月31日現在）



2 能登半島地震の被害

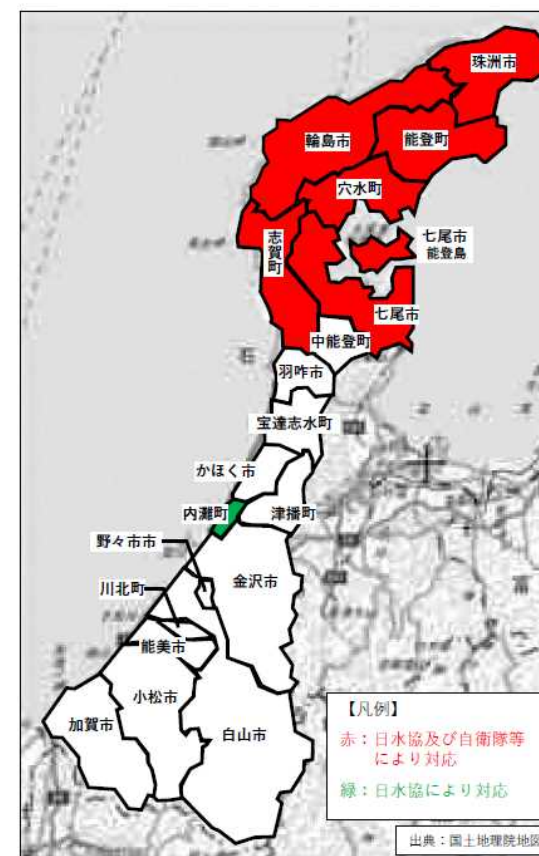
○断水の状況（令和6年1月31日現在）

・石川県8市町 約41,590戸で断水中

- ・七尾市約15,000戸、輪島市約10,00戸等
- ・8市町においては最大約75,300戸で断水
- ・石川県、新潟県、富山県等において、約60,340戸は断水解消済み
- ・断水の仮復旧は2月～3月末で要する見通し（石川県）

・日本水道協会（全国各事業者）、 自衛隊、国土交通省、147台にて 応急給水を実施

■ 応急給水活動状況



出展：厚生労働省による速報
（令和6年1月31日現在）



3 応援給水の対応

○日本水道協会の対応

- ・1月1日の地震発生直後から救援本部を設置
- ・先遣調査隊・調整隊の派遣、応急給水、応急復旧活動を実施

○埼玉県支部、県北支部の対応

- ・1月3日から越谷・松伏水道企業団が応急給水活動を実施
 - ・以降、さいたま市等各事業者が輪番で対応
- ・1月10日から熊谷市が応急給水活動を実施
 - ・以降、深谷市等各事業者が輪番で対応



4 鴻巣市の取り組み

○日本水道協会埼玉県支部から要請

・1月19日付けで埼玉県支部長から給水車の派遣依頼

○鴻巣市の対応

・派遣期間：1月30日から2月4日まで

・派遣先：石川県輪島市または志賀町

・派遣内容：上下水道部職員3名、給水車1台、随行車1台

・活動内容：応急給水活動

・金沢市を拠点として活動実施

<位置関係>

・鴻巣市から金沢市まで約440km 所要時間約8時間

・金沢市から輪島市（門前町）まで約100km 所要時間約2時間半



Google mapから作成



4 鴻巣市の取り組み

○1月29日（月）

- ・並木市長が派遣職員に激励
- ・「水と安心を届けます」と意気込み



4 鴻巣市の取り組み

○1月30日（火） 移動日

- ・鴻巣市を朝7時に出発
- ・活動拠点となる金沢市企業局に到着後、先遣隊から引継ぎ
- ・翌日の活動に備え、給水車への給水を行う。



4 鴻巣市の取り組み

○1月31日（水） 活動1日目

- ・金沢市を朝6時に出発し、輪島市（門前町）へ移動
- ・輪島市（門前町）の給水拠点（公民館等）5か所に給水活動
- ・途中、現地の浄水場で補給を行いながら実施
- ・主な活動は給水拠点に設置された仮設給水タンクへの給水



4 鴻巣市の取り組み

○2月1日（木） 活動2日目

- ・金沢市を朝6時に出発し、輪島市（門前町）へ移動
- ・輪島市（門前町）の給水拠点（公民館等）6か所に給水活動
- ・安全な水か、塩素を確認しながら活動を実施
- ・主な活動は給水拠点に設置された仮設給水タンクへの給水



4 鴻巣市の取り組み

○2月2日（金） 活動3日目

- ・金沢市を朝6時に出発し、輪島市（門前町）へ移動
- ・輪島市（門前町）の給水拠点（公民館等）6か所に給水活動
- ・給水活動には、自衛隊や全国の事業者も参加
- ・主な活動は給水拠点に設置された仮設給水タンクへの給水



4 鴻巣市の取り組み

○2月3日（土） 活動4日目

- ・金沢市を朝6時に出発し、輪島市（門前町）へ移動
- ・輪島市（門前町）の給水拠点（公民館等）6か所に給水活動
- ・活動終了後には、後続の事業体に活動の引継ぎを行う。
- ・主な活動は給水拠点に設置された仮設給水タンクへの給水



4 鴻巣市の取り組み

○2月4日（日） 移動日

- ・4日間の活動を終え、期間中は合計約16m³の給水を行う。
- ・金沢市から鴻巣市役所に帰庁

